

ありが隊新聞

天龍村地域おこし協力隊は「あっぱれ!天龍村の方にいつも協力して頂き有り難い!天と2014年より「あっぱれ!天龍村ありが隊」となっています。



令和6年10月
第138号
編集：於保樹

於保樹の活動報告

地域交流

まず、回覧にて配布されたかと思いますが、11月1日午後におきよめの湯30周年イベントがおきよめの湯玄関口で行われます!ご都合の合う方は是非足を運んで頂けたら嬉しいですよ。

9月下旬にお潔め祭り・30周年イベントのための練習を行いました。

今回も地区の協力、関係人口の方々に遠方から足を運んで頂き無事に終えることができました。今回は稲の収穫作業も行う予定でしたが雨で中止。しかし、水路の見学は行えました!

その際に、水の大切さや暮らしとの密接な繋がりなども含めてお話ししました。

関係人口の方々がどのような感情を抱いたかわかりませんが、水のありがたみを再認識して頂けたら嬉しいですね。時間や気持ちに余裕ができたら、大学生を呼んで色々な話をしたいですね。



祭り練習



水路見学

林業

9月中旬〜10月中旬にかけて、林業架線課程、高所作業車や中型自動車取得など資格を取りに行くために塩尻や飯田へ通っていました。そのため、地区での作業が進まず焦りの日々を過ごしておりました。

ただ、協力隊期間はもちろん、協力隊卒業後にも林業で生計を立てていくために必要な資格と考えています。10月末には大分落ち着くのもうひと踏ん張りですね。

11月からは、間伐や除伐、搬出作業など林業に沢山時間を割くことができるため嬉しいですよ!さらには、念願のチェーンソーと草刈り機を手に入れることができました!本当に嬉しいです、ありがとうございます。

エゴマ

遅れ遅れにはなりましたが、なんとかエゴマの収穫と乾燥させることができました。一安心です。ただ、今年一度だけ草刈りをしましたが、ほぼ放置状態で中途半端になってしまいました。去年は7キロほど収穫することができました。今年はい体どれほどの収穫量になるのか気になりますね。



エゴマ収穫・乾燥



◇食に関して

十月二日(水)にていざなす組合の板倉組合長さんからお声かけて頂き、小学一・二年生の授業に参加させていただきました。生産者の方からのお話や茄子の一生のお話を聞いた後、私は「ていざなす」料理をとの事だったので、茄子嫌いの子供たちかがどうしたら食べてくれるか?と、考え3品(まるごとていざなすのポテトチーズ焼き・チーズガレット・いろんなフライド野菜)作り食べてもらいました。茄子嫌いで子も口にしなかったり「食べれるようになった」という子もいて、私も嬉しくなりました。小さい頃から伝統野菜がこんなに身近にあることってなかなか贅沢だと思うのでこれからも、もっと村で食することが出来る機会を増やせるようにと思っています。



◇わちかふえ

上記の記事に関連してですが、和知野川キャンプ場カフェにて「天龍みそキーマカレー」を土日限定で始めました。村内もしくは南信州産の伝統野菜や調味料を使った料理が食せる場所になればと思っています。よかったら足を運んでください。都合により提供してない土日もあるかもしれませんのでキャンプ場に確認してから来ていただけると確実です。(☎2213695)



加藤まゆみ

◇その他

*お掃除、整理収納などの相談、お手伝いも引き続き行っております。季節の変わり目で気になる場所のお掃除等も一緒にやりますので、お声かけください。

*十一月一日(金) おきよめの湯三〇周年記念イベントにて鹿兒島の知人を迎え「彩颯」というユニットにて奄美島唄を交え三年ぶりに和太鼓演奏を行います。お誘いあわせの上、ぜひおきよめの湯にいらして下さい。

*文化祭に向けて小学三・四年生の和太鼓の練習にもお手伝いに行かせて頂いています。子供たちの元気な太鼓も楽しみにしててください。

モチコの

天龍やんやんや

文 望月ひとみ

秋の祭禮が無事執り行われ、山々の紅葉を日々楽しみに過ごすこの頃。お元気で過ごしてはいかがでしょうか。お米やえごま、果菜類は収穫が終わり、これからは葉物、根菜類、柑橘の収穫。猛暑の影響で収量減との見込みですが毎年同じようにはいかないのが本来。沢山とれたら保存備蓄にとれないときでも悲嘆せず次の手を常に衣食住が満たされていることを考え直す時かと思えます。

先月号で食糧自給について触れたところ、同感してくださり、関連する内容の新聞スクラップを村内Kさんより寄せていただきました。

森林や海岸、河川湖沼など生態系の保全コストは、資本主義企業は負担しない。税金で賄われて、整備されなければ成立しない農業は、果たして生産性が高いといえるのかとの問題提起が載っていました。

いま大手資本主義企業はメガソーラー設備開発など保全どころか環境破壊しているようなありさまです。天龍村は幸いそのような企業にのまられてはいませんが(恐らく)、税金ありきではあると思います。税金ありきとしても、環境保全は一朝一夕の認識の上で、各組合や里山協議会などが自分たちの財産(自然環境や農産物)は自分たちで守らねばという意識で、手間と時間のかかる補助金申請をし活用している現状です。

そもそも、土・山・川などの自然に多様な生物の暮らす環境を取り戻すことは、現代の農工業の生産性向上とは真逆のベクトル。ひとりひとり、自然への敬意をもって地道に手足を動かさなければ。どうでしょうか。

私は里山の風景は日本の宝だと思っています。それは観賞・観光のためではなく、そこに住む人の暮らしに必要な生物多様性があることが大事であるという観点です。外見や体裁ありきではなく、本質が伴っていないければ意味はありません。すべてのことにおいて、姿かたちだけを整えるのではなく、経済成長・大組織社会が生んだ無駄をなくし、本当に必要なことを選んでいける人たちとともに暮らしたいです。

先日、秋祭りにて人生の大先輩Tさんがこうおっしゃいました。「手と足を使わにゃ、人間はほろびるに」。その通りと思います。これまでは観光やPRのためのことも協力隊の活動としてやらせていただきましたが、以後は、伝統野菜および在来種の栽培と環境保全、農ある暮らしに関する啓蒙、知識共有できる場づくりをしていきたいと考えています。よろしく願っています。

東京農大生

望月梨乃華さん作

十久保南蛮×

ブッポウソウのキャラクター

トクピーに決まりました!

